

観光グルメマップを通じた諫早の国際観光活性化*

加藤久雄**、山口伸貴**、岩本海**

International tourism activation of Isahaya through the tourism gourmet map

Hisao KATO**, Nobutaka YAMAGUCHI** and Kai IWAMOTO**

I. 事業概要

1. 事業の背景と目的

日本政府観光局 (J N T O) の発表によると、2003年にビジット・ジャパン事業 (訪日プロモーション) を開始して10周年目に当たる2013年の訪日外客数はようやく1000万人を超えるようになった¹⁾。観光庁では、2020年に向け「2000万人の高み」を目指し、インバウンド施策の方向性や戦略等について議論を重ねている²⁾。

さて、長崎県は異国文化が残る町、原子爆弾が投下された県として多くの観光地をはじめ、平和観光、修学旅行地としても非常に有名である。2013年からは、韓国のL C C就航³⁾をはじめ、多くのクルーズ客船が来航するなど観光都市として国外からも注目を浴びている。また、関連してアジア諸国から観光客を誘致しようとする動きを見せ、集客力アップを目指している。国土交通省の計画に応じて2022年の新幹線の開通⁴⁾に向けて、当該地域への外国人観光客の大きな市場が望めることから、我々は早急な地域国際化環境整備が必要であると考えている。

今回の調査地である諫早市は、長崎、島原半島、佐世保を結ぶ長崎県の中央に位置し、交通の要衝とされる。市の中心には長崎県立総合運動場があり、県外からも多くの方々が訪れている。2014年には国体が開催され、以降、観光面での活性化が予想される。しかしながら、外国人集客を想定したパンフレットは数少なく、英語表記以外の韓国語や中国語を含む観光環境の整備が不十分なことが現状である。

長崎ウエスレヤン大学では、2011年から島原半島・県央地域で、観光協議会、観光連盟、民間団体などと包括協定等を結んでいる。また、それらの協定をもとに観光資源基礎調査⁵⁾、多言語版マップ作成、ホームページ翻訳、地域国際化提言報告書、多言語グルメマップの作成、県のホームページやSNSなどによる観光・物産情報の発信

などをおこなってきた。現在も長崎県国際課の補助事業の一環で雲仙温泉街観光地区の韓国語、中国語、英語版マップを作成している。

これらの取り組みは、島原半島、諫早や大村をはじめとした県央地域において、地域経済の活性化と地域国際化を推進するために、これまでの成果を活用し、面的に国際的観光地としての価値を高め、国際観光インバウンド力を強化していくことを目的としている。以上のことを踏まえて、本事業では地理的な要衝ではあるが環境整備が非常に遅れている諫早市を、アジアを中心とした国際的観光地としての認知の強化を目指し、調査対象地域として選定した。

諫早・大村地域の海外からの宿泊者数は、県内でも非常に少なく⁶⁾、まちなかの標識や飲食店のメニューの多言語表記等、外国人の受け入れのための基盤整備が不十分なままである。南島原地域のキリスト教関連遺跡群の世界遺産登録や、新幹線開通に向けた交通の要衝としての諫早でこうした海外インバウンドのための基盤整備が喫緊の課題となっている。本事業は、長崎ウエスレヤン大学が地域住民や企業との連携のもと、日中韓などアジア各国の学生による観光まちづくり活動 (観光資源評価・観光モデルコース開発) を通して、同地域における標識や飲食店のメニュー等、観光コンテンツの表記の多言語化を図るものである。

2. 具体的な取り組み内容

① 諫早の観光まちづくりワークショップ

留学生と日本人学生の協働チームを編成し、トランゼクトウォークを中心とした観光資源評価・外国人目線の観光ルート開発のための調査を数回にわたり実施した。

② 諫早の多言語観光マップ制作

上記ワークショップを通して、諫早中心市街地のまちあるき、山登り、都市伝説、スイーツ

* Received January 5, 2015

**長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部 経済政策学科, Department of Economic Policy, Faculty of Contemporary Social Studies, Nagasaki Wesleyan University, 1212-1 Nishieida, Isahaya, Nagasaki 854-0082, Japan

やB級グルメなどの多彩な観光資源の掘り起こしをした。それによる新たな観光ルートを開発し、これらの情報を盛り込んだ英語・韓国語・中国語表記によるマップを制作した。

II. 調査の概要

1. 方法

本学学生と本学留学生、交換留学生で混成チームを組織し、諫早の中心市街地の観光・食から考える地域活性化をテーマに、市内の観光地・飲食店の了解を得て、トランゼクトウォークをおこないマップ化する。本プログラムの実施を通して、地域の観光情報を世界にむけて発信する一つのモデル事業を構築する。

2. 調査参加者（長崎ウエスレヤン大学地域国際化チーム）

フィールド活動参加者

現代社会学部 学生6名（岩本海、宅島広大、
猶塚健大、友永力也、
角田亮、山口伸貴）

交換留学生（韓国）3名（宋多榮、白ダウン、
千ヒュジョン）

翻訳参加者

韓国・中国：6名（フィールド活動に参加した
3名を含む）

報告書作成参加者

現代社会学部 学生2名（山口伸貴、岩本海）

3. 事業助成

本事業は2013年度長崎県国際課『留学生と共に進める地域国際化事業』の補助を得た。

4. 共通使用言語

調査活動する際は、日本語を使用する。地図製作では、韓国語、中国語、モンゴル語を使用言語とする。

5. 事業内容

①調査対象地域

長崎県諫早市（中心市街地）

②調査時期

平成25年12月28日～平成26年2月15日

③調査内容

- ・観光資源となりうるものを写真・動画としてデータに保存する。
- ・飲食店の特徴を調査する。

- ・以上の成果をもとにマップ化し、さらに観光地と飲食店に対応する動画を作成し、それらを重ねる。

III. 調査報告

12月28日（土）

この日が諫早中心市街トランゼクトウォーク調査1回目ということで、諫早駅周辺の飲食店、および観光地を調査した。

〈諫早駅〉

駅前や諫早バスターミナルとタクシーの停留所もある西口ロータリーを結ぶ地下道を使うと、迂回せずに行くことが可能であり、利便性は高いといえる。その一方で、案内表記・標識が少ないので、地下道ではどこに通じているのか、外国語表記もないため外国人にとっては不安に感じかねないというマイナス点がある。また、子供や女性にとっては、人気の少ない時間帯や深夜には、防犯カメラの設置もなされておらず、防犯性の面で問題がある。

〈バスターミナル〉

空の玄関である長崎空港、県庁所在地である長崎市、観光資源も豊富な島原半島にもアクセスすることができ、陸路の中核的役割を担っている。また、軽い食事をすることもでき、時間をつぶすこともできる。しかし、海外からの観光客の視点から考えると、全く外国語表記がなされておらず、非常に使いにくい状況である。特に時刻表に関しては、路線が入り組んで、日本人であってもわかりにくい点がある。今後はわかりやすい路線図の整備、多言語の言語表記が求められる。

〈本明川〉

清やかな川の流れるを楽しむことが出来る。また、暑い夏の時期には川遊びを楽しめるだろう。その一方で、川上からの漂流物が川原に落ちていたり、雑草が生い茂っている場所もある。そのため、この状況のままであると、美しい景観が損なわれる可能性も十分にある。定期的な整美活動が必要となる。また、川沿いを歩くと大きな石があり、足場が悪い。子どもや年配の方には危険があるので、改善が必要である。

12月28日	9:30	大学集合
	10:10	諫早駅地下道
	10:20	諫早駅バスターミナル
	10:40	喫茶・軽食月 (ちゃんぽん)
	11:00	なるほど (カツ丼、カツカレー、ちゃんぽん)
	11:50	中華茶寮百菜 (ちゃんぽん)
	12:00	千鳥(カツ定食、カツカレー、ちゃんぽん)
	12:55	諫早駅
	13:00	クレープハウスぷち (クレープ)
	13:40	マツタケ (ケーキと和菓子)
	14:00	本明川調査
	14:30	解散

活動調査対象商品 (12月28日調査)



諫早駅バスターミナル



なるほど食堂のカツ丼



なるほど食堂のちゃんぽん



千鳥のちゃんぽん



千鳥の外観



千鳥のちゃんぽん



千鳥のトンカツ定食



クレープハウス ぷちのクレープ



クレープハウス ぷちの掲示メニュー



マツタケの外観

1月5日（日）

2回目の調査では、諫早における歴史やスイーツに重点を置き、調査をおこなった。

観光地では、それぞれの歴史や共通点があった。

〈諫早神社、諫早公園〉

「諫早公園内には眼鏡橋があり、諫早中心市街地における最大の観光地であるともいえるだろう。諫早駅からも徒歩15分圏内にあり、立地条件も含め、利便性は高いが、道は細く案内表示が少ないため、いくことができない、認知されずじまいというマイナス点がある。このように観光地を十分に観光客に楽しませることができないという問題がある。さらに、多角的にPRをすることが望まれる。

〈御書院〉

諫早家邸宅の庭園の中を観光することができる場所である。周辺には市役所や図書館といった高い建物に囲まれているが、ここだけは時代がとまったかのような感じを受けることができる。日本的な庭園には日本の文化が凝縮されており、外国人に好まれる日本らしい最高の観光コンテンツであるともいえる。その一方で、駐車場がない、入り口までの経路がわかりづらいなどの問題点もある。観光地そのものが目立つような案内板、ないしは地図が必要となってくる。

〈食堂〉

メニューの中で「カツ丼」というメニューがあるが、韓国でトンカツは有名な日本食で頻繁に食べられるものである。しかし、卵でとじたカツ丼は日本食専門料理店でしか食することはできない。また、韓国の留学生は日本のカツ丼の味を非常に好んでいた。それゆえ、十分に外国に向けて食をアピールできると考える。こうした小さな食堂にも国際化が可能な点が多くあり、今後はこのような食堂のメニューも多言語表記が必要となってくる。

1月5日	10:00	諫早駅集合
	10:20	諫早神社
	10:40	慶巖寺
	11:00	ドラゴン食堂（カツ丼、カツカレー、ちゃんぽん）
	11:50	眼鏡橋
	12:00	諫早公園
	14:00	御書院
	14:20	古賀饅頭店（饅頭、蒸しカステラ）
	14:40	普賢（ちゃんぽん）
	14:50	カキュー（トルコライス、ケーキ類）
	15:30	ハシモトヤ（ケーキ類）
	16:00	森長（おこし）
	17:00	諫早駅前解散

活動調査対象および商品（1月5日調査）



諫早神社の大クス



慶巖寺の磨崖仏



慶巖寺の山門



慶巖寺の墓石群



ドラゴン食堂
外観



ドラゴン食堂
カツ丼



諫早の眼鏡橋



ハシモトヤの内部



普賢の内装



カキューの外観



カキューのケーキ



カキューのカツ定食



森長の外観



森長のおこし



森長のプチおこしC



森長のプチおこしC

1月13日（月）

3回目の調査では神社と和洋の食に重点を置き、調査をおこなった。

2回目の調査でも神社を調査したが、今回も再び異なった神社を調査し、諫早における歴史を再認識した。特に今回は大通りにも面した店や観光地の調査をおこなった。

〈食堂〉

商店街内の食堂では、トンカツやちゃんぽんといった日本食だけでなく、パスタやケーキ類を扱っていたりする。また、店内はモダンな雰囲気をかもし出しており、華やかな雰囲気がよい。一方、昔から続く食堂には、長く地元の人から愛されているというような雰囲気があり、アットホームな印象を受ける。外国人にとっても日本らしい趣があるということで好評である。味も、長い間変わらないという印象を受け、定番としての価値もあろう。

〈上山公園〉

山頂までいくつもの山道があり、山中には多くの自然を感じることが出来る。山頂からの風

景は、諫早を一望することができる展望台もあり、ロマンティックな印象を受ける。また、紅葉の季節には色づいた葉を見ることができ、観光地として最適である。その一方で、石にコケが生え、雨季にはすべりやすくなることが予想される。加えて、外国語表記は皆無である。もし、日本語の分からない外国人が登山するようなら、不安や、道に間違ってしまう危険性もある。少なくとも英語での表記は必要である。

1月13日	10:00	大学集合
	10:30	御館山稲荷神社
	11:50	福新亭（ちゃんぽん）
	12:00	えげん坂（トルコライス、カツ定食、ケーキ類）
	12:50	高城神社
	13:30	上山公園
	15:40	天祐寺
	16:25	よろや万十（万十類）
	16:40	山崎屋（ちゃんぽん）
	16:50	トミーズ（クレープ、ハンバーガー）
	17:45	諫早駅前解散

活動調査対象および商品（1月13日調査）



御館山神社



御館山神社



御館山神社の鳥居



福新亭の外観



福新亭のちゃんぽん



えげん坂のカレーライス



上山公園



上山公園からの眺望



よろや万十の外観



よろや万十の外観



よろや万十のまんじゅう



山崎屋の外観



山崎屋のちゃんぽん



トミーズのクレープ

2月9日（日）

4回目の調査では麺類を中心に調査をおこなった。また、あまり知られていない観光地や話題性

が生じそうな場所も調査をおこなった。

〈島原鉄道幸駅〉

幸せの駅としても考えられる「幸駅」は幸せ

記念乗車券を発行しているなど、「幸」を利用しているといえる。ロマンを求める人、カップルや夫婦にとっていい情報といえるだろう。しかしながら隣の日本ロマンチスト協会の愛の聖地である愛野駅と比較すると見劣りし、この企画の認知としては低いものといえる。観光資源ではあるが、十分に活かしきれていないという印象を受ける。

〈Ishimura〉

だんごをはじめ、日本を代表する和菓子とケーキから焼き菓子までの洋菓子の豊富な商品が一つの店舗に集まっている。和菓子だけ、洋菓子だけといった店と違って、選択の幅が広がることが魅力である。また、買った商品を手で食べることができるスペースが設けられている店内では、コーヒーの無料サービスもあり、休憩や待ち合わせの時間にも便利である。

〈こすもす堂・黒田屋〉

幸駅周辺には、外国人に人気のあるラーメンや「ちゃんぽん」といった麺類を扱っている店が多い。この通り沿いには多くのちゃんぽんを提供する店が集中しており、『ちゃんぽんストリート』など、PRの仕方によっては新たな価値を付与できる。また、こすもす堂と黒田屋は隣接しており、ちゃんぽんを食べて、隣の店に行けば、ラーメンを食べにいくということも可

能である。

〈公園〉

大村湾を望む貝津町にある名もなき公園では、きれいな夕陽を望むことができる。特に整備されていない公園ではあるが、足を止める価値は十分にある。また、通りに面している公園とは違い、工場に囲まれており、なかなか人目につかないので、こっそりといくこともできるという魅力がある。

2月9日	10:00	大学集合
	10:35	諫早駅から島鉄乗車
	10:40	幸駅到着
	10:45	幸駅調査
	11:20	Ishimura (ケーキ類)
	11:55	萬壽亭 (ちゃんぽん、皿うどん)
	12:05	上海楼 (ちゃんぽん)
	12:15	こすもす堂 (ちゃんぽん、皿うどん、餃子)
	13:00	黒田屋 (豚骨ラーメン)
	14:40	東厚生町～地区センターへバス移動
	15:00	地区センター到着
	15:10	西諫早公園
	15:30	パール (カツ定食、ケーキ類、カツカレー)
	17:20	名もなき公園
18:30	大学解散	

活動調査対象および商品 (2月9日調査)



島原鉄道の車両



島原鉄道の到着



島原鉄道の幸駅



島原鉄道の掲示



Ishimuraの内部



Ishimuraのイートインスペース



Ishimuraの内部



萬壽亭外観



上海楼外観



上海楼のちゃんぽん



こすもす堂外観



こすもす堂の皿うどん



黒田屋のラーメン



黒田屋のラーメン



こすもす堂の餃子



パールのトンカツ



パールのカツカレー

2月15日(土)

最終回となった5回目の調査では、飲食店とスイーツ店を中心として調査をおこなった。

〈竹野鮮魚〉

常時、新鮮な魚が店頭並び、多くの市民が利用している。従来の鮮魚店のように魚を販売するだけでなく、新鮮な魚を隣接する飲食スペースで食べることができる。魚が苦手な留学生にも受け入れられることから、生臭さがなく、新鮮だということもわかる。また、韓国の市場にもこのようなイートインスペースがある。長崎県は海岸線が長く、ほとんどの市町村が海に囲まれ、漁獲量も高い。そのため、都市

部と比べ、安く、新鮮な魚を食べることができることは、このような仕掛けが展開できる可能性を持っている。

〈新平食堂〉

日本に長く滞在する留学生には母国の味に似たものが食べたいと考える人もいる。韓国人に好まれる辛み調味料も置いてあり、人気である。市民にもこのような従来の味だけでなく、何か一工夫した味が好まれる可能性も十分にある。

〈むっちゃんまんじゅう〉

諫早湾そして有明海の象徴でもあるムツゴロウをかたどったまんじゅうである。種類も豊富

にあり、味も一般的な黒餡や白餡といったものからカレーをハンバーガー風にしてみたりと変わり種も目立つ。屋上部には駐車場もあり、目の前にはスーパーもあることから、立ち寄りやすいのはよい。

2月15日 A班	10:00	大学集合
	10:40	シェリール(ケーキ類、紅茶)
	11:30	竹野鮮魚(日替わり魚定食、お茶漬け)
	13:10	ラッキー食堂(ちゃんぽん、皿うどん)
	13:20	新平食堂(ちゃんぽん、カツカレー、カツ定食)
	14:25	諫早駅前調査
	14:40	B班と合流
	15:00	大学到着
16:00	大学解散	

2月15日 B班	10:00	大学集合
	10:30	中華茶寮百菜(撮影)
	10:35	なるほど(撮影)
	10:50	飛び石(撮影)
	11:20	諫早神社(撮影)
	11:40	眼鏡橋(撮影)
	12:00	御書院(撮影)
	12:10	田中まんじゅう店(万十)
	12:20	普賢(ちゃんぽん)
	12:25	よろや万十(万十)
	12:50	宮田食堂(ちゃんぽん)
	13:40	むっちゃんまんじゅう(万十)
	14:00	高城神社
	14:15	天祐寺
	14:20	かなで(ケーキ類)
	14:30	SANTOS(ケーキ類)
14:40	A班と合流	
15:00	大学到着	
16:00	大学解散	

活動調査対象および商品(2月15日調査)



シェリールの外観



シェリールのイートインスペース



竹野鮮魚の外観



竹野鮮魚のメニュー



新平食堂のちゃんぽん



新平食堂のトンカツ



諫早神社の鳥居



諫早神社



田中まんじゅう店内部



田中まんじゅう店のまんじゅう



ボヌール外観



ボヌール内部



宮田食堂のちゃんぽん



サントス内部



よろや万十外観

飲食店調査評価 12月28日

なるほど	味	3	<ul style="list-style-type: none"> • ほとんど塩辛い • 麺の固さがちょうどいい 	n=1
	もりつけ	4		
	皿	3		
	値段	3		
	地域性	5		

1月5日

ドラゴン 食堂	味	2	<ul style="list-style-type: none"> • 量が多い 	n=1
	もりつけ	5		
	皿	5		
	値段	3		
	地域性	4		

千鳥	味	3	<ul style="list-style-type: none"> • サラダがおいしい • 韓国人の口には合う • 塩辛い 	n=1
	もりつけ	4		
	皿	3		
	値段	3		
	地域性	5		

普賢	味	2	<ul style="list-style-type: none"> • 日本風の店内装飾 	n=1
	もりつけ	3		
	皿	3		
	値段	3		
	地域性	4		

ぷち	味	3	<ul style="list-style-type: none"> • フルーツのボリュームが満点 • カスタードクリームがおいしい 	n=1
	もりつけ	5		
	皿			
	値段	4		
	地域性	5		

カキュー	味	3	<ul style="list-style-type: none"> • 料理もスイーツもどちらもおいしい 	n=1
	もりつけ	4		
	皿	4		
	値段	3		
	地域性	4		

マツタケ	味	3	<ul style="list-style-type: none"> • タルト生地がおいしい • クリームがなめらか 	n=1
	もりつけ	5		
	皿			
	値段	3		
	地域性	3		

1月13日

福新亭	味	3	<ul style="list-style-type: none"> • 脂っこくなく食べやすい 	n=2
	もりつけ	3.5		
	皿	3.5		
	値段	3		
	地域性	3		

えげん坂	味	2	<ul style="list-style-type: none"> • スパイスが効いていておいしい • 種類の多さも魅力 	n=1
	もりつけ	5		
	皿	5		
	値段	4		
	地域性	4		

よろや万十	味	3	• 餡の甘さがちょうどいい	n=1
	もりつけ	3		
	皿			
	値段	3		
	地域性	3.5		

2月15日

竹野鮮魚	味	3.5	• さばの味が韓国人の味覚にも合う	n=2
	もりつけ	4		
	皿	4		
	値段	4		
	地域性	3.5		

山崎屋	味	3	• 安いし、おいしい	n=1
	もりつけ	3		
	皿	3		
	値段	4		
	地域性	2		

シェリール	味	3.5	• 紅茶を使ったスイーツがおすすめ • メープルが甘すぎずいい • 雰囲気がいい	n=2
	もりつけ	4		
	皿			
	値段	3.5		
	地域性	3		

2月9日

いしむら	味	3	• クリームが甘すぎずいい • コーヒーが無料	n=1
	もりつけ	4		
	皿			
	値段	3		
	地域性	3		

Lucky 食堂	味	2.5	• 皿うどんがおいしい	n=1
	もりつけ	4		
	皿	3		
	値段	3		
	地域性	4		

萬壽亭	味	2	• ちゃんぽんのスープがまろやか	n=1
	もりつけ	4		
	皿	3		
	値段	3		
	地域性	3		

宮田食堂	味	3	• シーフードがたっぷり入っておいしい	n=1
	もりつけ	4		
	皿	4		
	値段	3		
	地域性	3		

上海楼	味	3	• 味は強いくせがない	n=1
	もりつけ	3		
	皿	3		
	値段	3		
	地域性	3		

田中まんじゅう店	味	3	• 安くておいしい	n=1
	もりつけ	3		
	皿			
	値段	3		
	地域性	3		

こすもす堂	味	3	• 脂っこい • 餃子おいしい	n=1
	もりつけ	3		
	皿	3		
	値段	3		
	地域性	3		

ボヌール	味	3	• たっぷりクリームが濃厚 • チョコ好きには必見	n=2
	もりつけ	4		
	皿			
	値段	3.5		
	地域性	3.5		

黒田屋	味	3	• 麺はやわらかい • スープは脂っこさもあるがあっさりしておいしい	n=1
	もりつけ	4		
	皿	4		
	値段	3		
	地域性	3		

かなで	味	3	• 種類が豊富	n=1
	もりつけ	3		
	皿			
	値段	4		
	地域性	3		

アンゼラス	味	3	• 人情味ある温かい雰囲気	n=1
	もりつけ	4		
	皿			
	値段	3		
	地域性	3		

IV. トランゼクトウォーク調査およびワークショップから得られた観光市場の中での諫早の優れた点と改善すべき点

1. 飲食店

今回、調査を実施した諫早市内26店舗の飲食店とスイーツ店においてテイスティング調査をおこなった。調査結果は店舗ごとに集計し、表としてまとめた。

調査結果からは、「味」に対する評価よりも「盛り付け」や「皿」がそれ以上に評価されている。このことから見た目の美しさも大切に扱われている点は注目すべきである。

テイスティング調査者ではおもに韓国の留学生が担当し、外国人としての味覚で評価をおこなった。ちゃんぽんに対しては「塩辛い」「脂っこい」と多くの意見が聞かれた。ある店舗では、韓国人の好む調味料を準備しているが、多くの店舗では外国人利用者は少ないことから、一般的に準備をしていないことが多い。また、外国人に対しては、塩分を控えることや油分を少なくできるような配慮も必要となる。

スイーツ店に関しては、すべての項目で高評価を得た。特に「甘さ」という点で、高評価を得た。諫早には多くのスイーツ店が軒を連ねている。創業200年を超える老舗もあり、「和の伝統」という面でも高評価を得ている。和菓子と洋菓子の両方を販売している店もあり、選択の幅も大きく、これらが非常に有力な地域資源であるといえる。

2. 多言語マップ

作成当時、諫早市では多言語に翻訳されたマップがなかった。ゆえに、飲食店や観光地のトランゼクトウォーク調査とワークショップを基盤にした多言語マップを並行して作成した。多言語マップの作成にあたり、国内、韓国、中国からいかに観光客を誘致できるかということに着目して作成を進めた。特に長崎県は韓国からの観光客が多く、2014年12月からLCCが毎日運航される⁷⁾ということを受け、他の言語版と比べ、韓国語版には力を入れた形となっている。

各マップには、その国の留学生によって翻訳がなされ、動画サイトでもある「YouTube」で諫早の飲食店や観光地が多言語に翻訳され、多言語のナレーションを施した動画を閲覧することが可能なかげがある。動画に着目したことは、近年、世界中でインターネットが普及し、ガイドマップのような紙媒体だけでなくインターネットを通し

て事前に観光地を調べる傾向があることが挙げられる。加えて、マップのような文字媒体だけであると、最後まで読まれなかったり、十分に活用がなされない可能性もある。その反面、並行して動画を利用することで情報を豊富に伝えることが出来る。また、マップには各飲食店や観光地に対応したQRコードが配置され、手持ちのスマートフォンから即時に動画に接続が可能となっている。しかしながら、インターネットが接続できる場所に限るので、常時使用できるとは言い難い面もある。

実際にこれらの動画群の再生された国と地域を見ると、海外からのアクセスが大半を占めている。また、諫早を訪れた外国人観光客に諫早をよりよく知ってもらうツールとしても、行政や民間を問わず積極的に活用してほしいと考える。

マップにはピックアップした約50の飲食店や観光地の紹介を住所とともに記載している。加えて、各国の留学生が自分の国の趣向にあったコースの選定をし、「歴史とロマンコース」「山登りコース」といったような各国5コースほどが完成している。各コース所要時間が2時間から5時間ほどで、さらにはすべて徒歩圏内なので、空いた時間などを利用して観光をすることが可能となっている。コースの内容としては、飲食店やスイーツ店、観光地を時間の無駄がないように、各コースごと色分けされた形で組み立てられており、コンパクトな観光。そして隈なく諫早を短時間で楽しむことのできる構成となっている。

①多言語マップ配布場所（順不同）

- ・長崎県庁（国際課／観光振興課／アジア・国際政策課）
- ・諫早市役所（商工観光課）
- ・長崎市総合観光案内所
- ・諫早駅
- ・（財）長崎県国際交流協会
- ・諫早観光物産コンベンション協会
- ・ご協力いただいた会社・店舗

②多言語マップのマスコミ取材会社（順不同）

- ・3sunテレビ
- ・長崎新聞
- ・西日本新聞
- ・NBCラジオ
- ・読売新聞

V. 考察

今回の調査地である諫早市は、長崎、島原半島、佐世保を結ぶ長崎県の中央に位置し、交通の要衝とされる。市の中心には長崎県立総合運動場があり、県外からも多くの方々が訪れている。2014年には国体が開催され、以降、観光面での活性化が予想される。しかしながら、外国人集客を想定したパンフレットは数少なく、英語表記以外の韓国語や中国語を含む観光環境の整備が不十分なことが現状である。

同様に以下に示す統計は、現在の海外インバウンドに対する諫早地域の取り組みの不十分さを表

しているといえる。以下の表は、長崎県観光振興課の外国人観光客を表したデータから諫早市のもののみを抜粋し、平成23年度から25年度までの統計としてまとめたものである。

「宿泊客実数」より宿泊客が年度を追うごとに増加している一方で、「長崎県における諫早の宿泊客が占める割合」のほうを見ると、数値には変化がそれほど見られない。つまりは、長崎県全体の観光客は増加しているが、諫早市においては何ら変化がないということがわかる。さらに、「延宿泊者数」や「宿泊客延滞在数」を見ると、平成24年度より25年度が減少している。

	宿泊客 実数	延宿泊 者数	宿泊客 延滞在数	長崎県における諫早の 宿泊客が占める割合	長崎県における諫早の 観光客延べ数が占める 割合
H. 25	1,212	1,974	3,186	0.32%	
H. 24	1,057	2,559	3,616	0.35%	0.46%
H. 23	744	1,286	2,030	0.34%	0.40%

長崎県観光振興課

(<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoiku-bunka/kanko-bussan/statistics/kankoutoukei/2000.html>) より

今後に期待される取り組みとしては、世界各国の方々に『諫早』を認知してもらうことが非常に大切なことであろう。本事業では諫早の地域国際化ということで、諫早の食や文化を外国人にも受け入れられる街、外国人観光客の誘致、そして、そうあるにはどのような工夫が必要なのかと調査を続けた。調査を進めていく中で、諫早にも数多くの観光を中心とした地域資源があることに気づいた。また、外国人目線で見ると諫早の町には地元の人にはわからない観光ポイントや、地元に住む人だけに分かる観光ポイントも多くあった。その多くを集約して、観光資源として売り出せば、外国人観光客のさらなる増加が見込める。

特に評価できる点として、コストパフォーマンスに優れていることがいえる。市内にある食堂やスイーツ店の多くは、低価格の割には量が多かったり、地場産や季節の食べ物をふんだんに使用していたりと観光客に喜ばれる要素がある。外国人においても日本らしい雰囲気の中で食事でも安くできると好評だった。スイーツに関しても、職人の感性が十分に生かされて、見た目も味も優れたスイーツを提供する店が多く存在する。

また、観光地でも諫早の歴史を目で見て、肌で

感じるものの出来る観光地や、市内を一望できる眺望ポイントもある。日本の伝統文化に関心のある外国人ならば、京都には劣るかもしれないが、それを味わうことも可能⁸⁾である。

その反面、外国語表記や国際空港でもある長崎空港から市中心部まで車で20分程度の好立地にあることを生かしきれず、外国人観光客誘致に出遅れている感じは否めない。やはり、観光地への経路を外国語で表記することが急務であるといえる。諫早市の市のホームページに記載されている観光地の多くは多言語表記の案内板が設置されている一方、市民にもあまり認知されていない観光地には外国語表記で紹介・説明がなされていない場所が多い。そのため、たまたま目に留まった観光地を外国人観光客がその観光地はどういったものなのかとわからずじまいになる恐れがある。

また、雑草が生い茂り、景観維持が不十分であり、そのために美的価値が低くなっている印象も受ける場所もある。できるものなら、期待の枠組みの中で観光したいというのがその心理だろう。そうした面も含めて、景観整備などにさらに配慮を進めることが必要であろう。

このように、諫早においても優れているといえ

る点と改善すべき点がある。その一つ一つが少し視点を変えて考えることで十分に良い方向に進みうることが期待できる。その対策としては多言語に翻訳を施した観光地図を作成し、市内または県外や海外に設置配布することがあげられる。このような積重ねにより諫早の地域国際化は進み、観光客はグローバル、観光地はローカルといった『グローバル』な地域観光モデルが構築されていくのだろう。

VI. 結論

本学留学生との日本人学生との協働による調査や作業を通して、外国人の視点による地域資源の再発見・利活用に関する具体的な成果物を提供することにより、地域活性化の一助となることを本事業は目標としている。計6回のトランゼクトウォークとワークショップを通じて、諫早市中心市街地の観光資源に関する的確な評価と新たな魅力発見につなげることができた。

これまでの調査の結果、おおむね以下の結論を得た。

- ①物産調査の結果、国別性別による顕著な購買行動や嗜好の差異が認められ、さまざまなストーリー性を重ねあわせると、それらの魅力が高まることがわかった。
- ②ストーリーづくりをテーマになされたまち歩き・食べ歩き（トランゼクトウォークも含む）調査では、外国人向けの情報が不十分であることがわかり、その状況を動画コンテンツによって実用性の高い外国人向け情報として補完できる可能性を発見するに至った。
- ③ガイドなしでの外国人留学生への案内だったが、日本人学生とともに作られたこのような動画コンテンツが、観光ガイドの機能を将来的に果たす可能性がある。

謝辞

本事業は2013年度長崎県国際課『留学生と共に進める地域国際化事業』の補助を得ておこなわれたものである。現地での調査にご協力いただいた飲食店および観光地のスタッフの皆様、本事業にご協力いただいた本学のスタッフ・学生の皆様に厚く御礼申し上げたい。

註

- 1) 日本政府観光局（JNTO）『訪日外客数の動向』
http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism_

- data/visitor_trends/ 閲覧日(2014年1月4日)
- 2) 観光庁『訪日外国人旅行者数2000万人の高みを目指し、「マーケティング戦略本部」を新たに設置〜』
http://www.mlit.go.jp/kankocho/news08_000201.html 閲覧日(2014年1月4日)
- 3) 中央日報『ジンエアーが仁川〜長崎に就航、韓国系LCCで初めて』
<http://japanese.joins.com/article/273/174273.html> 閲覧日(2014年1月4日)
- 4) 佐賀新聞『九州新幹線長崎ルート、着工認可2022年一括開業』
<http://www1.saga-s.co.jp/news/sinkansen.0.2236465.article.html> 閲覧日(2014年1月4日)
- 5) 雲仙市観光協議会・長崎ウエスレヤン大学2012『留学生と共に進める地域国際化事業報告書』
- 6) 長崎県観光振興課『長崎県観光統計データ(平成21年〜平成25年)』
<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kankokyoiku-bunka/kanko-bussan/statistics/kankoutoukei/2000.html> 閲覧日(2014年1月4日)
- 7) ジンエアー『長崎=ソウル線12月1日から、運航回数を週7便、毎日運航に増便』
http://www.kokusaikogyo.co.jp/files/topics/383_ext_01_0.pdf 閲覧日(2014年1月4日)
- 8) 長崎エリア／2泊3日 癒しの女子旅〜絶景と温泉で心も身体もリフレッシュ！『長崎の小京都・諫早へショートトリップ4. 諫早観光タクシーコース』
<http://www.nagasaki-tabinet.com/course/60926/> 閲覧日(2014年1月4日)